

無石綿

# NS弾モル

## タイル張付け用弾性プレミックスモルタル

NS弾モルは、従来のタイル張付け材と比較して変形追従性に優れた再乳化形粉末樹脂混入タイプの弾性ポリマーセメントモルタルです。

温度変化やコンクリートの乾燥収縮等に起因する躯体コンクリートとタイルの接着界面はく離せん断応力による疲労破壊的なはく離・はく落事故を防止します。

### 特長

- 静弾性係数が小さく、変形能力(伸び能力)が大きいため下地への変形追従性能に優れます。
- 長期接着耐久性に優れ、はく離・はく落に対する安全性が向上します。
- 水練りだけで使用できるため、品質管理が容易です。
- 優れた作業性を有し、従来のタイル張付け材と同様の施工が可能です。

### 標準仕様

製品名	荷姿	適用部位	適用下地	適用タイル	標準調合	塗厚	標準施工面積
NS弾モル	20kg/袋	内・外壁	コンクリート、PC板、モルタル、ALCパネル、押出し成形板	モザイクタイル	清水 約5.5ℓ	3~5mm	約4m <sup>2</sup> (4mm厚)

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。  
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

### 性能

試験項目	試験結果	試験方法	
単位容積質量(kg/ℓ)	1.55	都市公団「タイルモルタル」に準じる	
保水率(%)	82.0		
軟度変化(%)	1.3	JIS A 6916 に準じる	
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	6.4	都市公団「タイルモルタル」に準じる	
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	27.3	JIS A 1171 に準じる	
静弾性係数(N/mm <sup>2</sup> )	7518	JSCE-G502 に準じる	
引張強さ(N/mm <sup>2</sup> )	3.2	ASTM C 307-94 に準じる	
伸びひずみ(μ)	324		
接着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	標準時	1.81	都市公団「タイルモルタル」に準じる
	温冷繰返し後	1.78	
長さ変化率(%)	0.26		
吸水率(%)	11.1	JIS A 1171 に準じる	

## 下地の清掃

下地の浮き・割れがないことを確認し、表面の汚れ等を除去してください。浮き・割れ等は適切な処置をしてください。

- \* タイルの浮き・はく落の原因となりますので、下地の点検は入念におこなってください。
- \* 下地モルタルは必ず、木ごて押えとしてください。
- \* 下地モルタルを木ごて押えとすることによりタイル下地として適度な粗面となり、安定した接着性が得られます。

## 下地処理 (吸水調整材塗布)

NSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

- \* ドライアウトの原因となりますので、下地への急激な吸水を調整するために、希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布してください。

## 練混ぜ

NS弾モル20kgに対し、所定量の水を加え、ハンドミキサー等でダマが残らないように十分に練り混ぜてください。

- \* 強度低下の原因となりますので標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

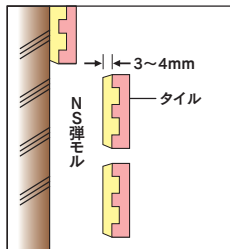
## 塗付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください。1回の塗付け面積は2m<sup>2</sup>程度とし、気象条件等により適宜調整してください。

- \* 安定した接着力を確保するため、1度に塗り付けしないで、必ず、2度塗りで所定厚に塗り付けてください。
- \* 安定した接着力を確保するための塗厚の目安は、以下の通りです。  
モザイクタイル:4mm
- \* タイルを張り付ける際には、NS弾モルの表面が指先によく付くことを確認してください。
- \* 接着不良の原因となりますので、NS弾モルの表面が指先に付かなくなった(皮張りした)場合は、必ずかき落として、再度塗り付けてください。
- \* タイル張り付け面にくし目を入れるとタイル裏面に空隙ができ、接着不良の原因となりますのでくし目は入れないでください。
- \* マスク張り工法の場合は、「下地への塗付け」工程は省略してください。

## タイル張付け

### ■ マスク張り工法

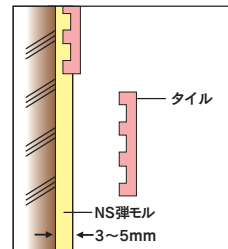


ユニットタイル裏面にマスクを乗せNS弾モルを塗り付け、マスクをはずしてからユニットタイルをたたき押えて張り付けてください。

- \* タイルの浮きやはく離の原因となりますので、目地部分にNS弾モルが盛り上がるまでたたき押えをおこなってください。

- \* タイル張り付け後、目地直しが必要な場合は、速やかにおこなってください。無理な目地直しは接着力が低下する要因となります。
- \* 建築工事標準仕様書「JASS19陶磁器質タイル張り工事」に基づく

### ■ モザイクタイル張り工法



下地面にNS弾モルを塗り付け、直ちに表紙張りのモザイクユニットタイルを張り付け、たたき押えて張り付けてください。

- \* タイルの浮きやはく離の原因となりますので、タイル張付けと同時にタイル裏足からNS弾モルがはみ出るまでたたき押えをおこなってください。

## 目地詰め

目地詰めまでの養生期間は、通常1週間、冬季は2週間以上としてください。



## 使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。